

■皮膚科研修プログラム

1) 一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する皮膚科疾患に適切に対応できるように、基本的な臨床能力(態度、技能、知識)を身に付ける。

2) 行動目標

1. 面接と身体所見から炎症性疾患、感染症、腫瘍、代謝性疾患を鑑別できる。
2. 皮膚の悪性腫瘍を発見できる。
3. 全身性疾患による皮膚疾患を発見できる。
4. 爪の感染症、変形の原因を特定し治療できる。
5. かゆみの治療ができる。
6. 皮膚潰瘍の治療ができる。
7. 皮膚科専門医に相談できる。
8. 基本的な形成外科的手技(植皮・皮弁)を理解できる。

3) 研修方法

1. 代表的な皮膚疾患(湿疹、蕁麻疹、薬疹及び皮膚感染症等)の診断と鑑別方法を学ぶ。
2. 皮膚縫合法(表皮縫合、真皮縫合)と皮膚生検術を学ぶ。
3. 各種外用剤・内服薬、創傷被覆剤の使用方法を学ぶ。
4. 外来診察見学と合わせて問診、皮膚所見の記載、診断にあたる。
5. 実際の皮膚科に特有な診断法(発疹学的診断、真菌検査、パッチテスト・プリックテストなどの皮膚アレルギー検査など)、治療法(外用療法や内服療法、皮膚腫瘍凍結療法など)を指導医とともに学ぶ。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価

皮膚科 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	外来診察	外来診察	外来診察	手術見学	外来診察
午後	外来診察	外来診察	外来診察	手術見学	外来診察